

4. 28 院内集会

司会 日巻書記次長

全国からごくろうさまです。只今より院内集会を開催致します。

主催者あいさつ 内田委員長

皆様、署名ありがとうございました。今日の主催は3つの団体です。民営化をひかえ16万人いるゆうメイトその数は拡大していると思います。ゆうメイトは、補助的な作業と言われているが実態はそうではない。主要な業務を担っています。その雇用、状態が大問題です。公務非常勤は、任用といわれ法の谷間におかれパート労働法すら適用されません。集会、話し合いの中で打開を図りたい。

ゆうメイト自己紹介

紹介議員挨拶

吉川春子参議院議員

昨年は、民営化問題で論戦を行なってきました。ゆうメイトさんの問題も取り上げてきました。私は、越谷局を視察し、簡易郵便局も視察し仕事を拝見しました。生田総裁は、ゆうメイトの数を8H換算で答弁しましたが、それはなんだ、実際の人で見るべきだと申し上げました。

パート議連衆参56名の参加。非正規雇用の問題で法案を準備しています。皆さんの問題も取りくみたい。行革法案、32万人削減する法案です。しかし、日本の公務員はフランスの三分の一、イギリスの二分の一、先進国で最低です。また、非正規の労働者が増える。そのことを、水曜日指摘しました。正規・非正規であれ、一時間働けば同じ賃金で差別を設けてはならない。しかし、不当に差別され、パート労働法も改正されない中で皆さんの実態があると思う。通常の労働者と同じ仕事しているのに毎年、毎年身分を切っていく。そういう不安一杯の中で働いている。こういうことは、人間を扱う政府として許されないこと。日本の社会的安定も守れない。正規・非正規の区別なく労基法の人たるに値する扱がなされなければならない。

山下八洲夫参議院議員秘書

今後も高い関心を持って職員の皆様の雇用の問題を取り組んでいきたい。

又市征一参議院議員秘書

全国津々浦々で仕事をされることは今後も変わらない。いっしょにがんばっていきたい。

吉井英勝衆議院議員秘書

ゆうメイトの雇用、懸案の問題。法の谷間何とかできないかと取り組んできた。うまい解決方法がなかった。全国からの運動がおきて事態を変える契機となると思う。小泉民営化いったんは挫折し、今日となっています。パートの問題は、国民の中の格差を広げていくものとなっている。共に取り組みたい。

署名手渡し

まとめの挨拶 山崎委員長

全国で取り組まれてきた署名が手渡されました。よろしく、お願いします。雇用の問題しっかり雇用が継承されることが公社との交渉の中で明確になってきています。院内外で運動が前進した結果です。勝負はこれからです。アクションプラン、レビューの中で公社が何をしかけてくるのか。私たちが闘いをやめれば彼らは攻撃をしてくる。しっかりと雇用を継承させるよう頑張りたい。

司会

その他の紹介議員として、近藤、糸数参議院議員をご紹介します。

※ 院内集会に続き「総務省」「郵政公社」とゆうメイトとの意見交換が行われました。
意見交換会記録については「別紙」